

自立活動の指導の基本はどのようなことか。

① 自立活動の指導の特色

- 自立活動は個々の幼児児童生徒の障害の状態や発達段階等に即して指導を行うことが基本であり、指導計画においても個別に作成されることから、集団で指導することを前提にしていない。
- 学習指導要領に示されている各教科等の「内容」は、すべての児童生徒に対して確実に指導しなければならない内容であるが、自立活動の「内容」は、個々の幼児児童生徒の障害の状態等に応じて選定されるものであり、すべてを指導すべきものとして示してはいない。

② 自立活動の具体的な指導内容

- 自立活動の「内容」は、人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素と、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素で構成しており、それらの代表的な要素である26項目を示したものである。
- 個々の幼児児童生徒に設定される具体的な「指導内容」は、学習指導要領に示された「内容」から必要な項目を選定し、それらを相互に関連づけたものであり、自立活動の「内容」は具体的な指導内容を検討する際の視点ともいえる。

③ 知的障害者における自立活動のとらえ方

- 全般的な知的発達の程度や適応行動の状態に比較して、言語、運動、情緒、行動等の特定の分野に、顕著な発達の遅れや特に配慮を必要とする様々な状態が知的障害に随伴して見られる。そのような障害の状態による困難の改善等を図るために自立活動の指導を効果的に行うことになる。
- 各教科、道徳、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて指導を行う場合においても、自立活動について個別の指導計画を作成する必要がある。